

8 「孤立ゼロプロジェクト」など

-
- (1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況
 - (2) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路
 - (3) 「地域包括支援センター」の認知状況
 - (4) 「地域包括支援センター」の認知経路
 - (5) 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向
 - (6) 協力意向がある活動内容
 - (7) 「成年後見制度」の認知状況
-

8. 「孤立ゼロプロジェクト」など

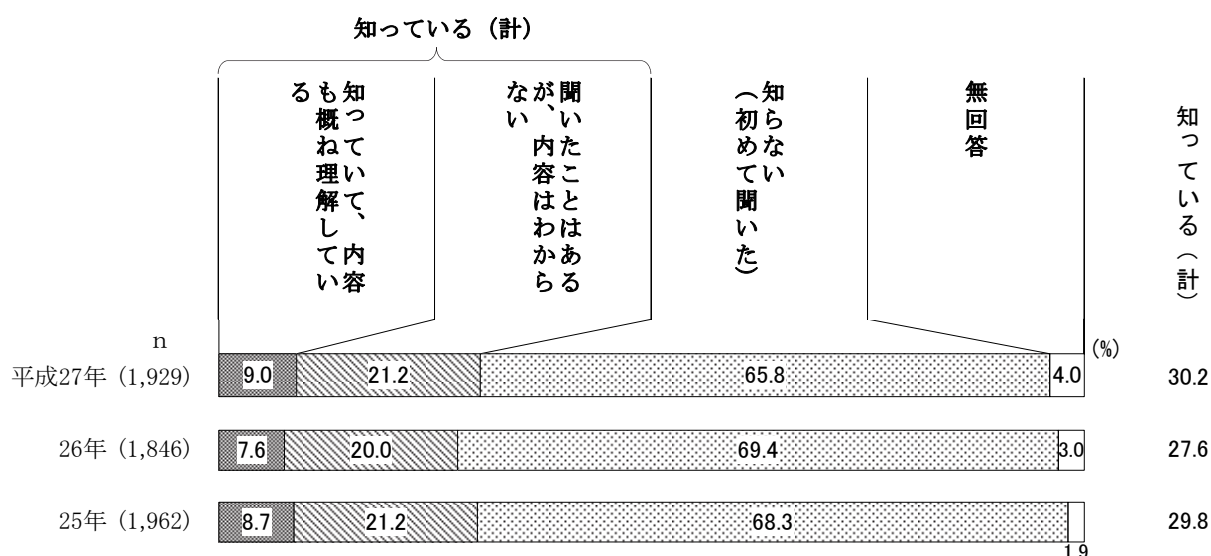
(1) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況

■ 【知っている】が3割

問31 あなたは、足立区の「孤立ゼロプロジェクト（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 「孤立ゼロプロジェクト」とは地域における見守り活動を支援するとともに、日常的な寄り添い支援活動を通じて、支援を必要とする方を早期に発見し、必要なサービスにつなぐ、地域活動などへの社会参加を促す一連の活動をいいます。

図8-1-1 経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



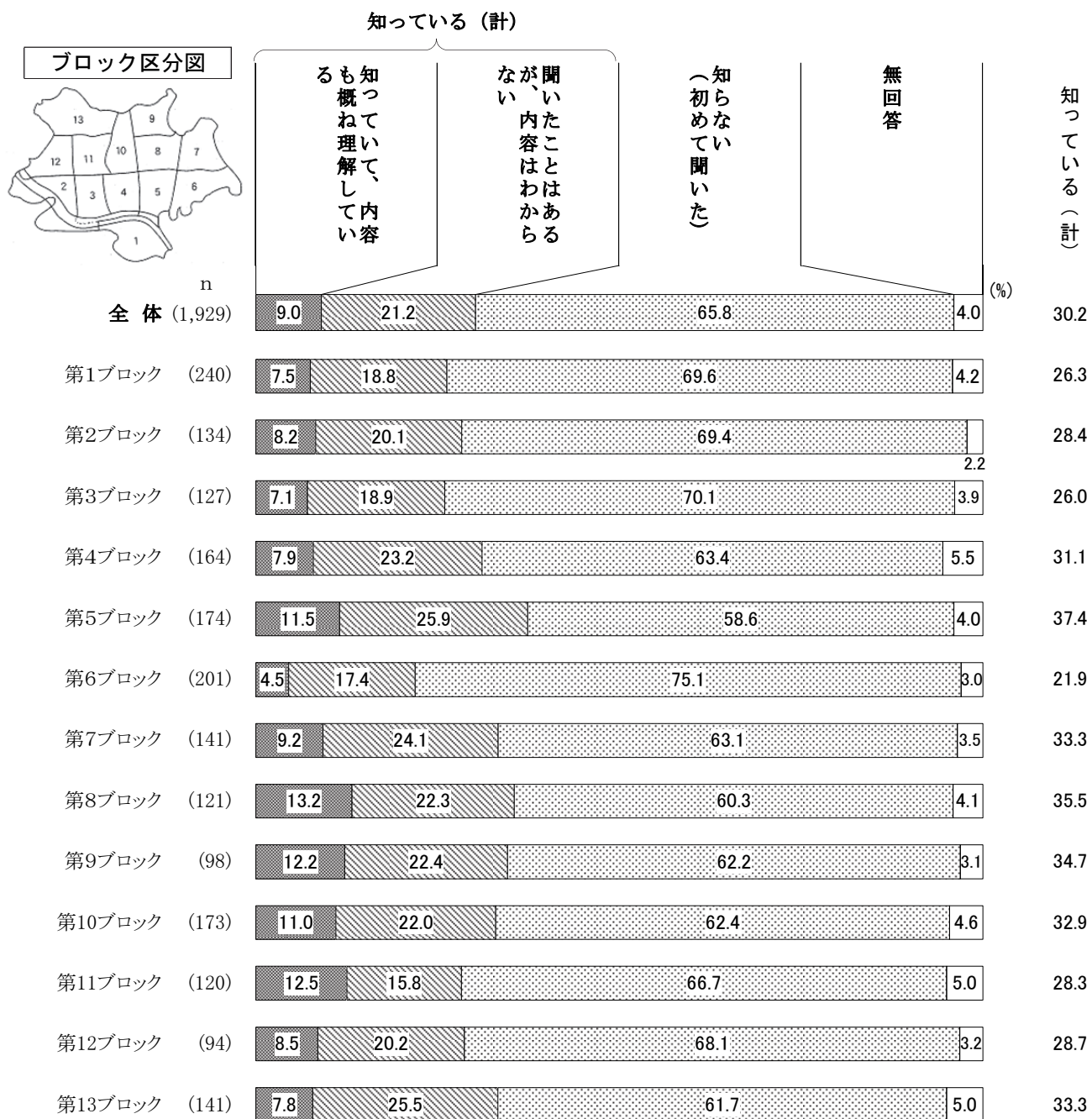
『孤立ゼロプロジェクト』について、「知っている、内容も概ね理解している」が9.0%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の21.2%を合わせた【知っている】は30.2%となっている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は65.8%を占めている。

経年でみると、【知っている】は今回30.2%と、平成26年の27.6%から2.6ポイント微増している。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、【知っている】は、第5ブロックで37.4%となっているほか、第4ブロック、第7ブロックから第10ブロック、第13ブロックで3割を超えている。地区ブロック間の差は、第5ブロックと第6ブロックの間で最も大きく、両者の間には15.5ポイントの差がある。

図8-1-2 地域ブロック別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



性別で見ると、【知っている】は男性29.7%、女性31.1%となっている。

性・年代別で見ると、男性で【知っている】は、40代で2割を超え、以降、加齢とともに増加し、60代で36.4%、70歳以上で43.0%となっている。

女性でも、ほぼ同様の増加傾向を示し、60代で45.1%、70歳以上で39.6%となっている。

図8-1-3 性別、性・年代別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知状況



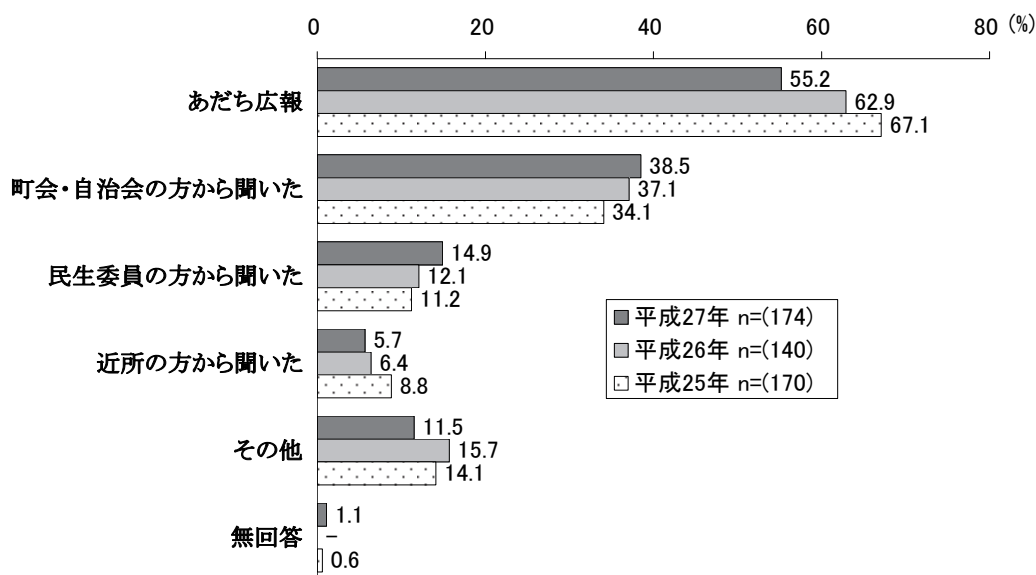
(2) 「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路

■ 「あだち広報」が5割台半ばも減少傾向

問31で「1. 知っていて、内容も概ね理解している」とお答えの方に

問31-1 プロジェクトのことをどのようにして知りましたか（〇はあてはまるものすべて）。

図8-2-1 経年比較／「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路

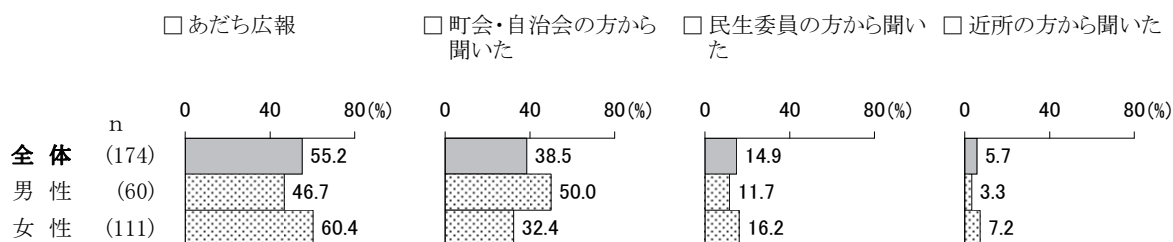


「知っていて、内容も概ね理解している」人に、情報媒体を聞いたところ、「あだち広報」が55.2%で最も高く、次いで「町会・自治会の方から聞いた」（38.5%）となっている。

経年でみると、「あだち広報」は今回55.2%と、平成26年の62.9%から7.7ポイント減少している。

性別でみると、女性では「あだち広報」が60.4%と、男性（46.7%）より高くなっている。一方、男性では「町会・自治会から聞いた」が50.0%と、女性（32.4%）を上回っている。

図8-2-2 性別／「孤立ゼロプロジェクト」の認知経路

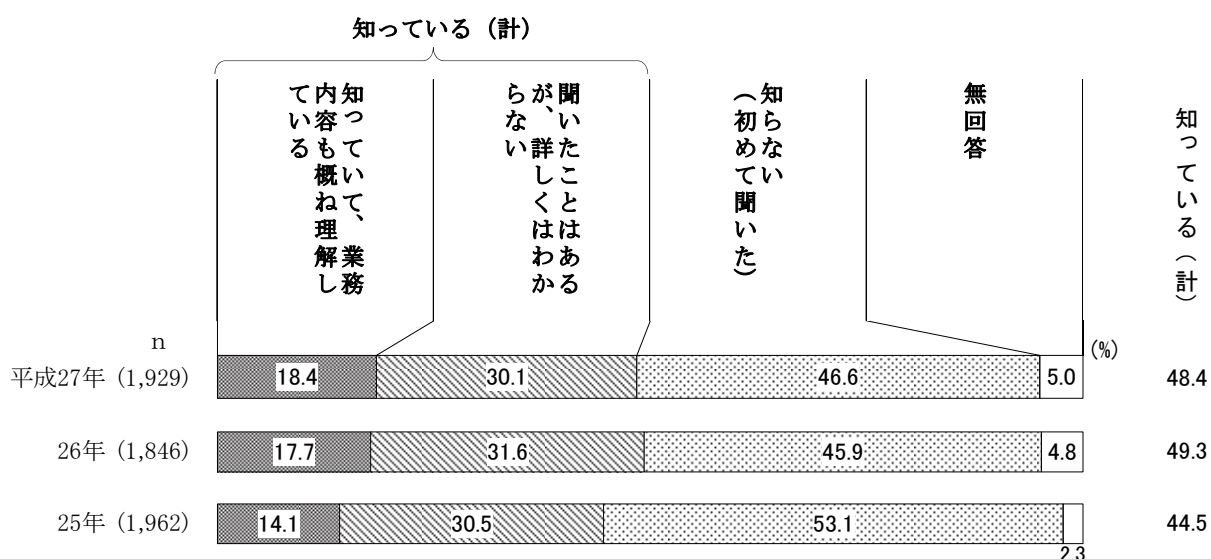


(3) 「地域包括支援センター」の認知状況

■ 【知っている】は約半数

問32 あなたは、「地域包括支援センター（※）」を知っていますか（○は1つだけ）。
 ※ 「地域包括支援センター」とは足立区から委託を受けた公的な「高齢者の総合相談窓口」です。高齢者やご家族の方の様々なご相談に応じて、公的な保健福祉サービスの紹介や申請手続きのお手伝いをします。

図8-3-1 経年比較／「地域包括支援センター」の認知状況



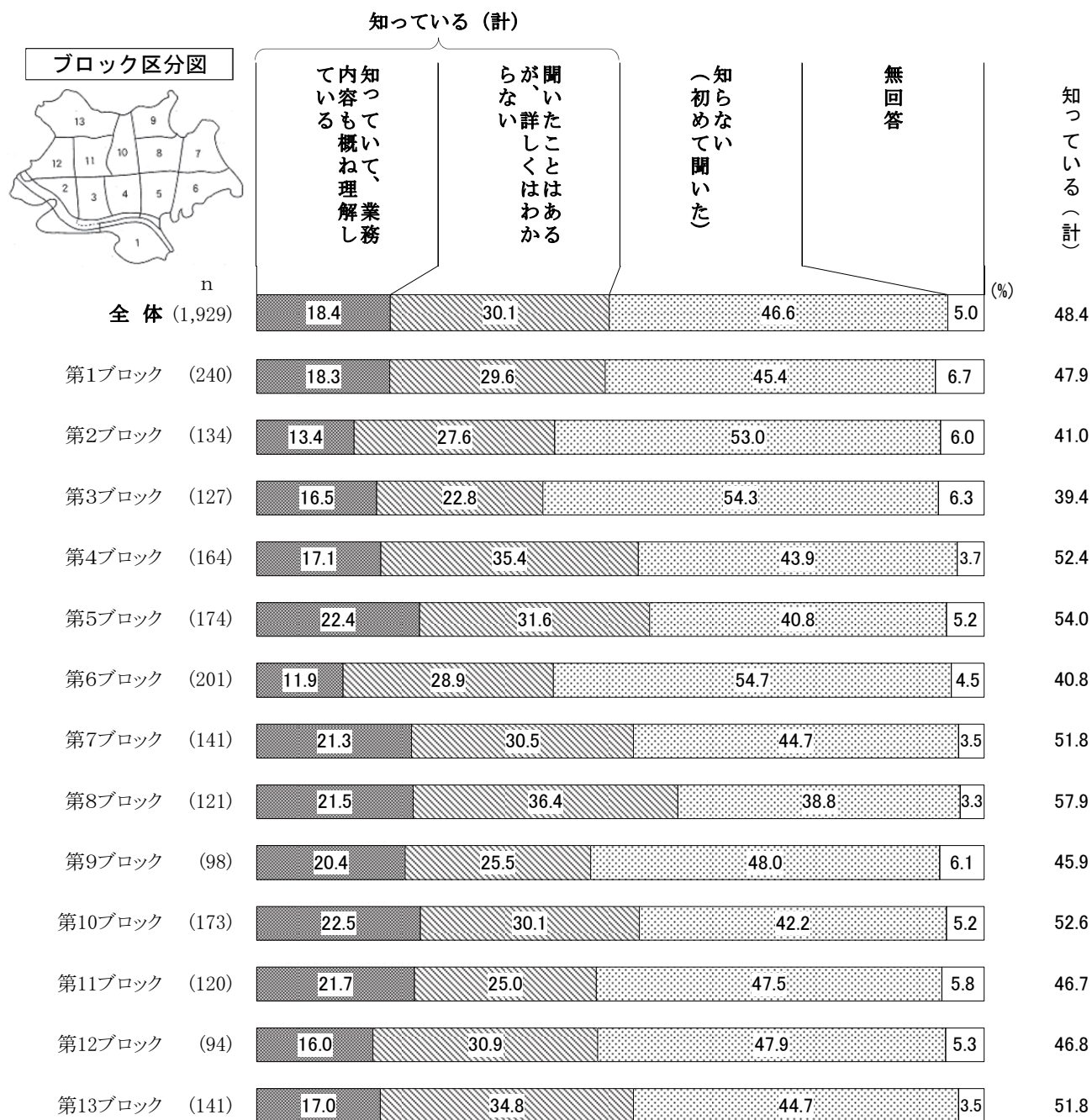
『地域包括支援センター』について、「知っている、業務内容も概ね理解している」が18.4%で、これに「聞いたことはあるが、詳しくはわからない」の30.1%を合わせると【知っている】は48.4%である。一方、「知らない（初めて聞いた）」は46.6%を占めている。

経年でみると、【知っている】は平成26年49.3%、今回48.4%とほぼ横ばいとなっている。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、第8ブロックで、【知っている】が57.9%と6割近くを占めているほか、第4ブロック、第5ブロック、第7ブロック、第10ブロック、第13ブロックでも5割を超えている。

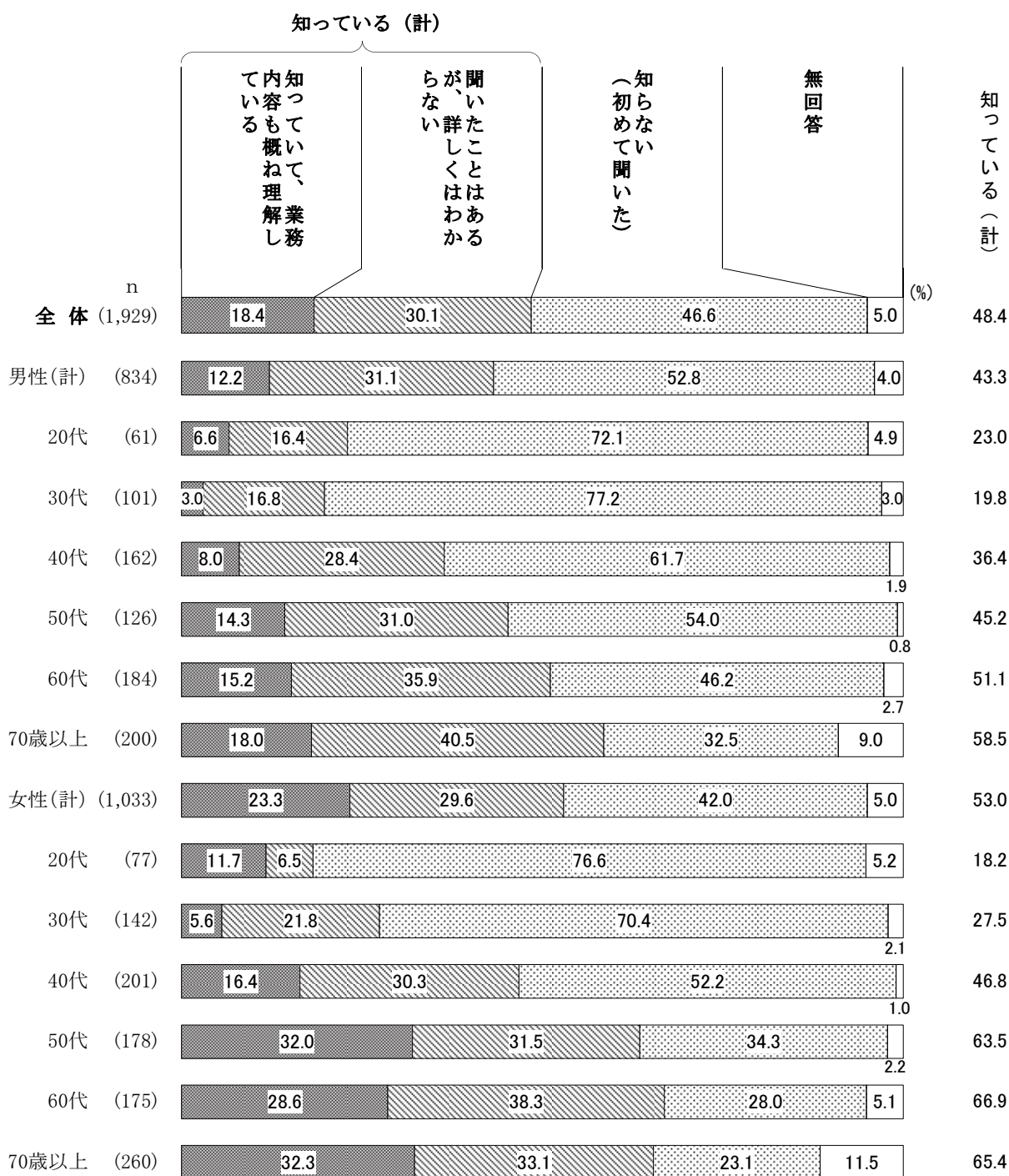
図8-3-2 地域ブロック別／「地域包括支援センター」の認知状況



性別で見ると、【知っている】は男性43.3%、女性53.0%と、男性より女性で高くなっている。性・年代別で見ると、男性では、加齢とともに【知っている】が増加し、70歳以上では58.5%となっている。

女性では、50代から70歳以上で【知っている】が6割を超え、他の年代より高くなっている。

図8-3-3 性別、性・年代別／「地域包括支援センター」の認知状況



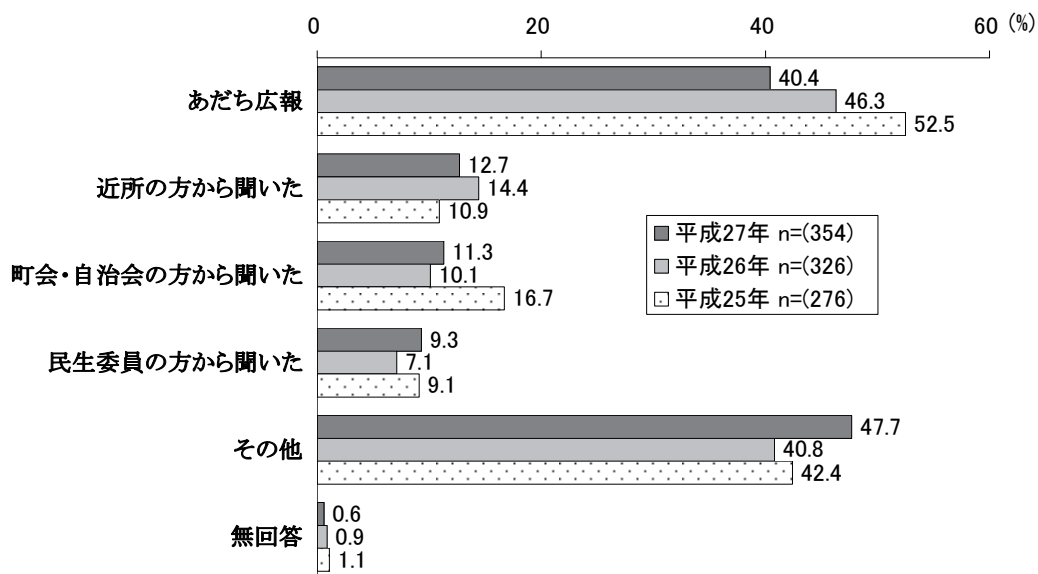
(4) 「地域包括支援センター」の認知経路

■ 「あだち広報」が4割も減少傾向

問32で「1. 知っていて、業務内容も概ね理解している」とお答えの方に

問32-1 「地域包括支援センター」のことをどのようにして知りましたか（〇はあてはまるものすべて）。

図8-4-1 経年比較／「地域包括支援センター」の認知経路

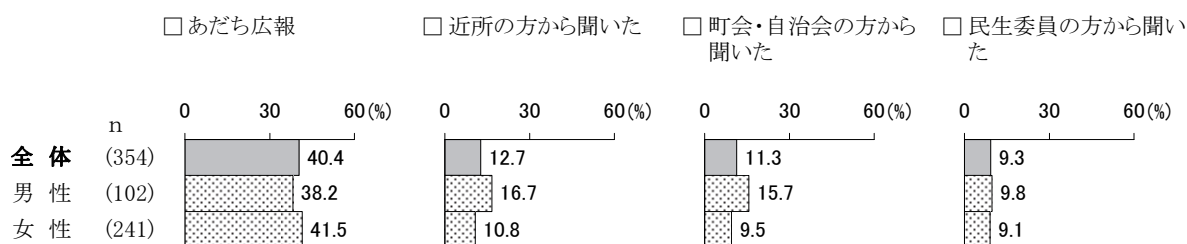


「知っていて、業務内容も概ね理解している」という人に、情報媒体を聞いたところ、「あだち広報」が40.4%で最も高く、以下「近所の方から聞いた」（12.7%）、「町会・自治会の方から聞いた」（11.3%）の順で続いている。

経年でみると、「あだち広報」は今回40.4%と、平成26年の46.3%より5.9ポイント低く、平成25年以降、減少傾向が続いている。

性別でみると、「あだち広報」は男性38.2%、女性41.5%となっている。また、「近所の方から聞いた」は男性16.7%、女性10.8%と、男性が女性より高くなっている。

図8-4-2 性別／「地域包括支援センター」の認知経路

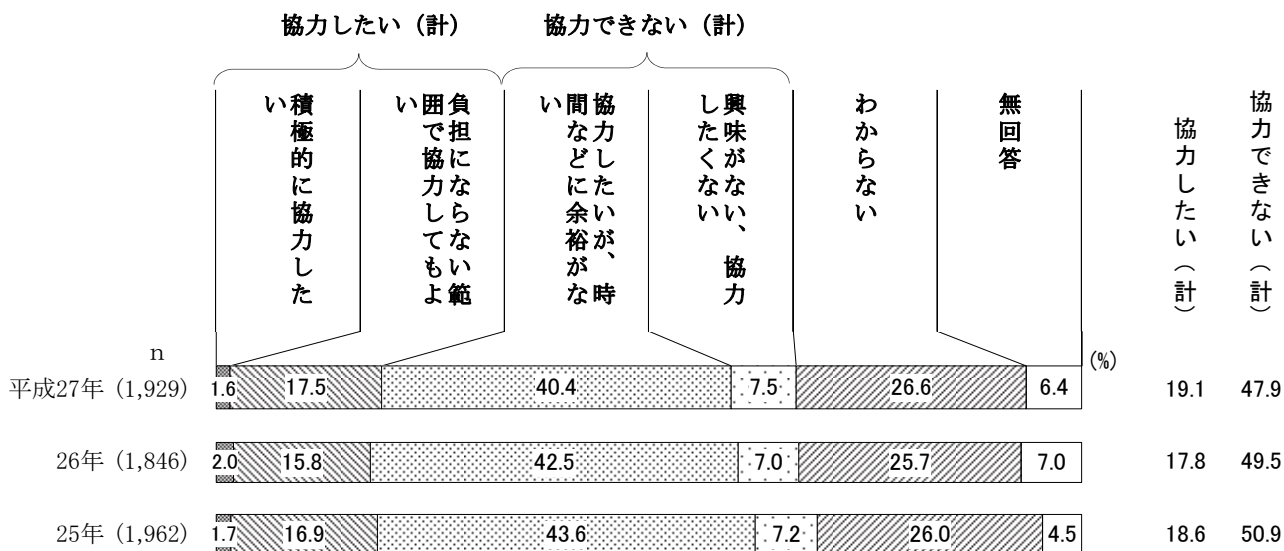


(5) 高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

■ 【協力したい】の2割弱に対し、【協力できない】は5割弱

問33 あなたは、高齢者の孤立防止や見守り活動に協力してみたいですか（○は1つだけ）。

図8-5-1 経年比較／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



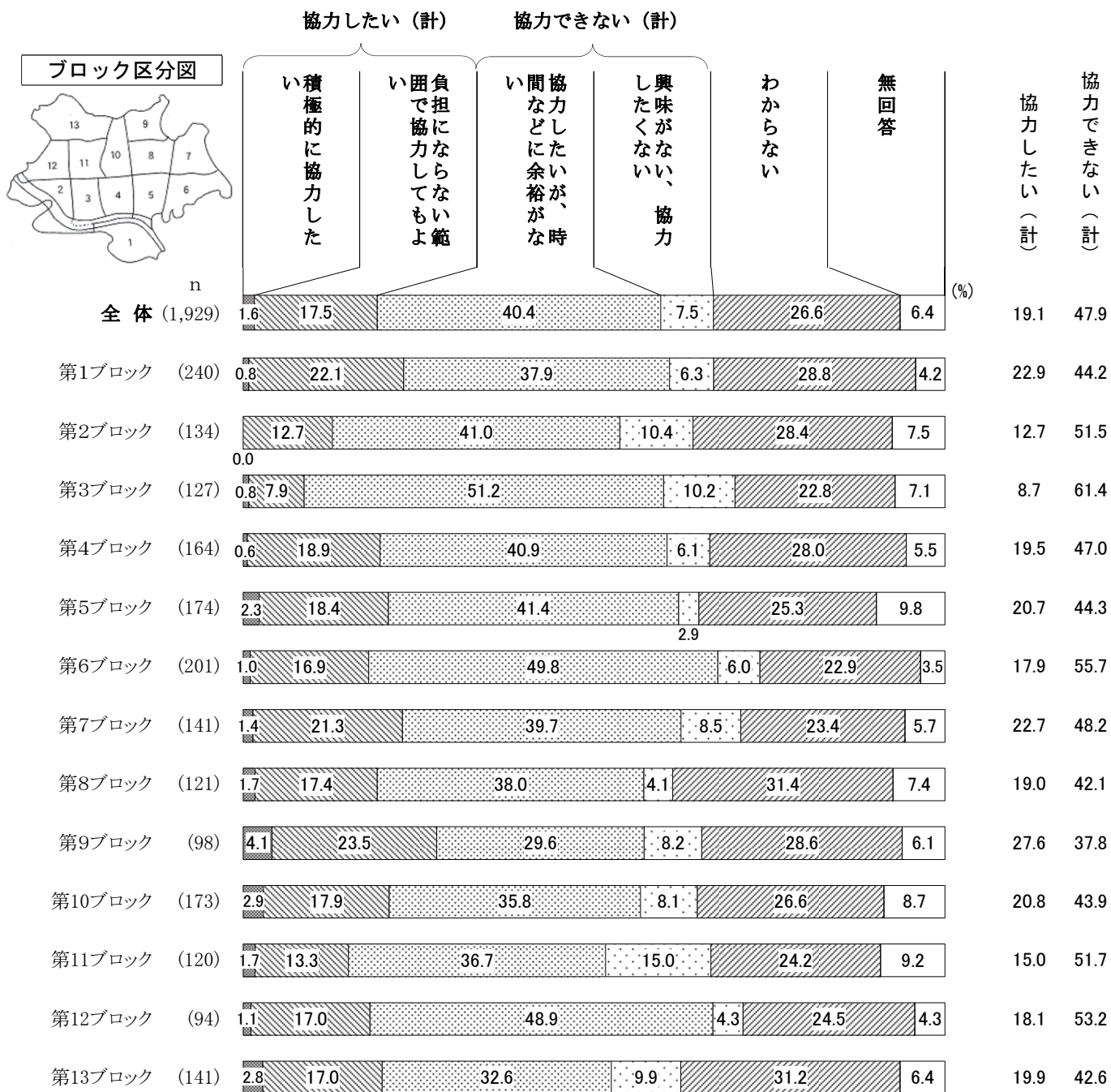
高齢者の孤立防止や見守り活動に「積極的に協力したい」は1.6%で、これに「負担にならない範囲で協力してもよい」の17.5%を合わせた【協力したい】は19.1%である。一方、「協力したいが、時間などに余裕がない」は40.4%、「興味がない、協力したくない」は7.5%となっている。

経年でみると、【協力したい】は平成26年17.8%、今回19.1%とほぼ横ばいとなっている。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、第9ブロックでは、【協力したい】が27.6%と高くなっているほか、第1ブロック、第5ブロック、第7ブロック、第10ブロックでも2割を超えている。

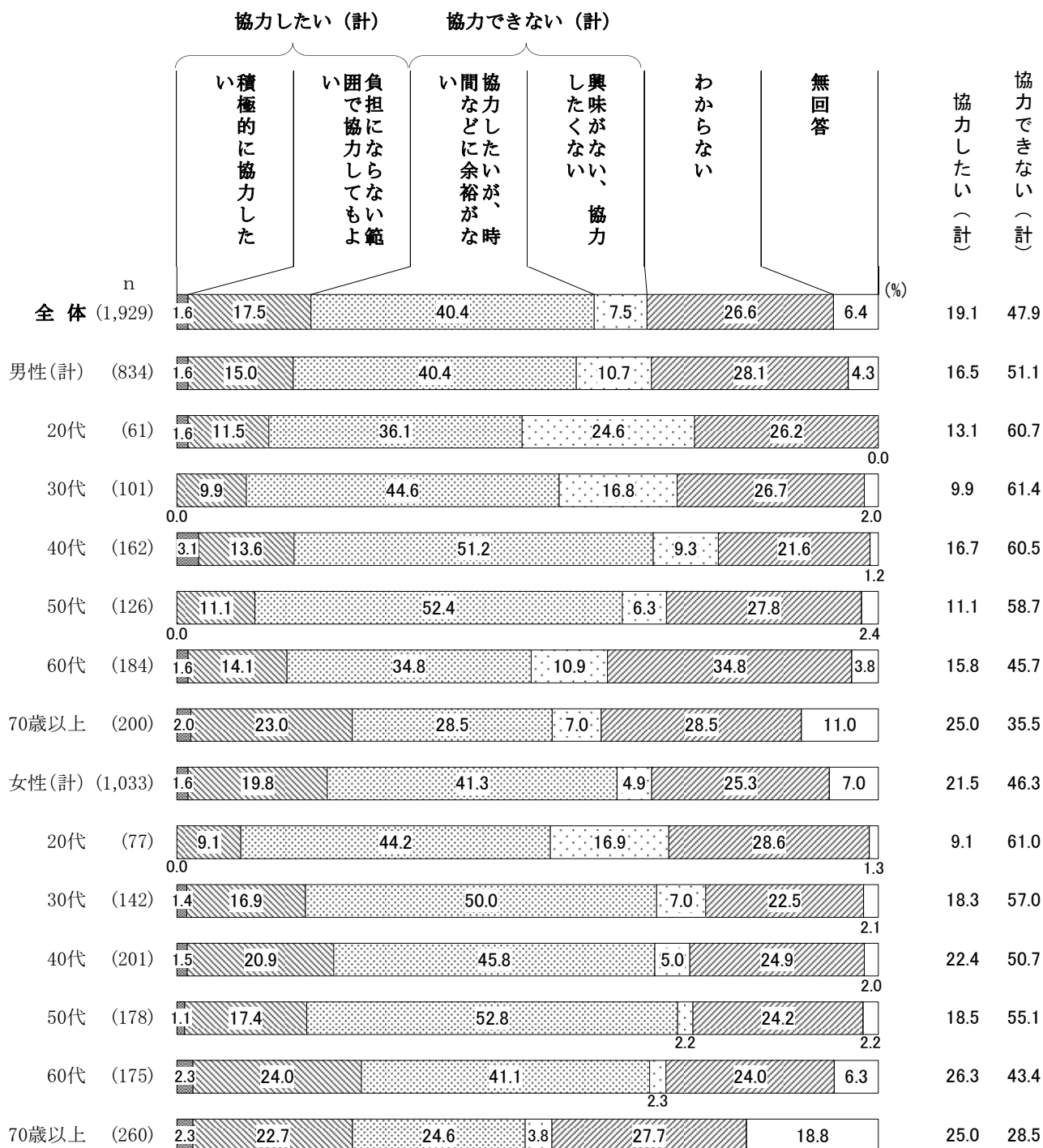
図8-5-2 地域ブロック別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向



性別でみると、【協力したい】は男性16.5%、女性21.5%と、男性より女性が高くなっている。
 性・年代別でみると、男性では、70歳以上で【協力したい】が25.0%と、他の年代より高くなっている。

女性では、60代、70歳以上で【協力したい】が、それぞれ26.3%、25.0%と、他の年代より高くなっている。

図8-5-3 性別、性・年代別／高齢者の孤立防止や見守り活動への協力意向

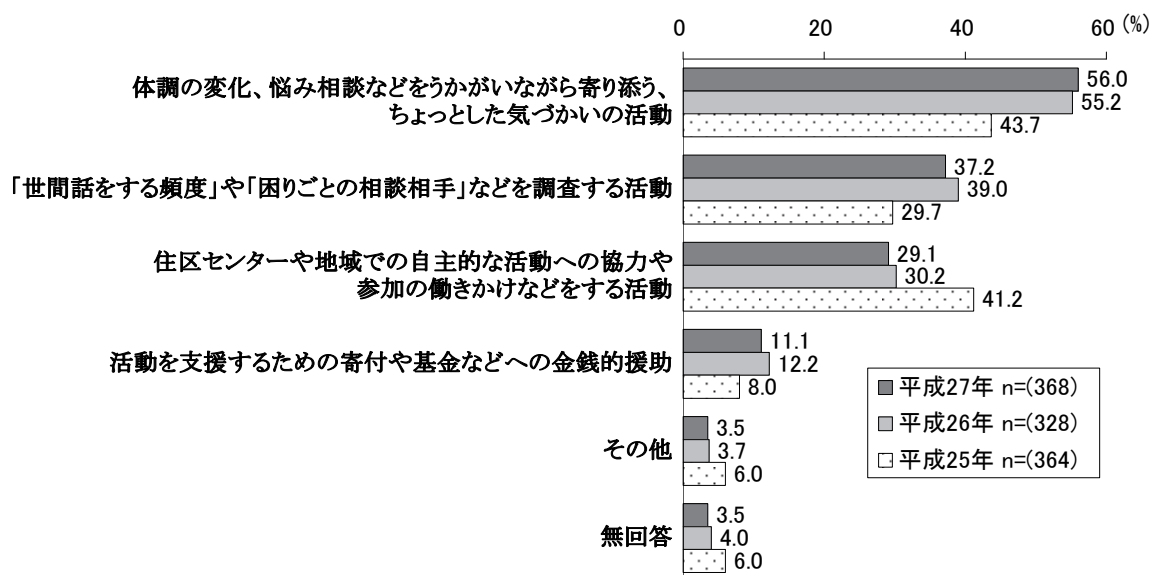


(6) 協力意向がある活動内容

■ “ちょっとした気づかひの活動”が5割台半ば

問33で「1. 積極的に協力～」、または「2. 負担にならない範囲で協力～」とお答えの方に
問33-1 どのような活動に協力したいですか（○はあてはまるものすべて）。

図8-6-1 経年比較／協力意向がある活動内容



平成25年調査の選択肢について

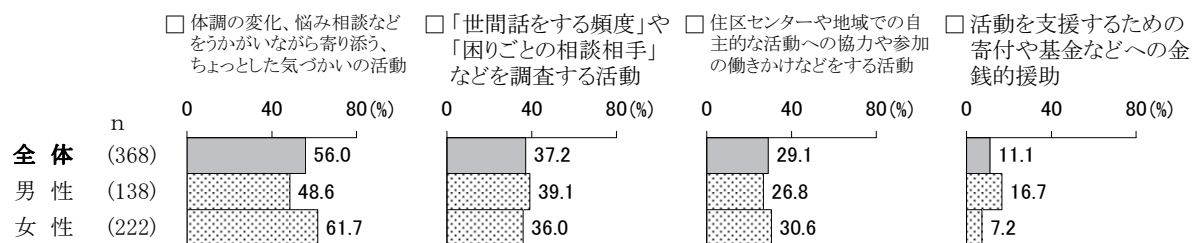
- 体調の変化、悩み相談などを伺いながら寄り添う、ちょっとした気づかひの活動＝平成25年調査：寄り添い支援活動
- 「世間話をする頻度」や「困りごとの相談相手」などを調査する活動＝平成25年調査：調査活動
- 住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動＝平成25年調査：居場所づくりや活動の場での協力
- 活動を支援するための寄付や基金等への金銭的援助＝平成25年調査：財政的協力

【協力したい】という人に、その活動内容を聞くと、「体調の変化、悩み相談などをうかがいながら寄り添う、ちょっとした気づかひの活動」が56.0%で最も高く、以下「『世間話をする頻度』や『困りごとの相談相手』などを調査する活動」（37.2%）、「住区センターや地域での自主的な活動への協力や参加の働きかけなどをする活動」（29.1%）の順で続いている。

経年でみると、上位項目の順位、比率に大きな変動はみられない。

性別でみると、「寄り添い支援活動」は男性48.6%、女性61.7%と、男性より女性で高くなっている。

図8-6-2 性別／協力意向がある活動内容

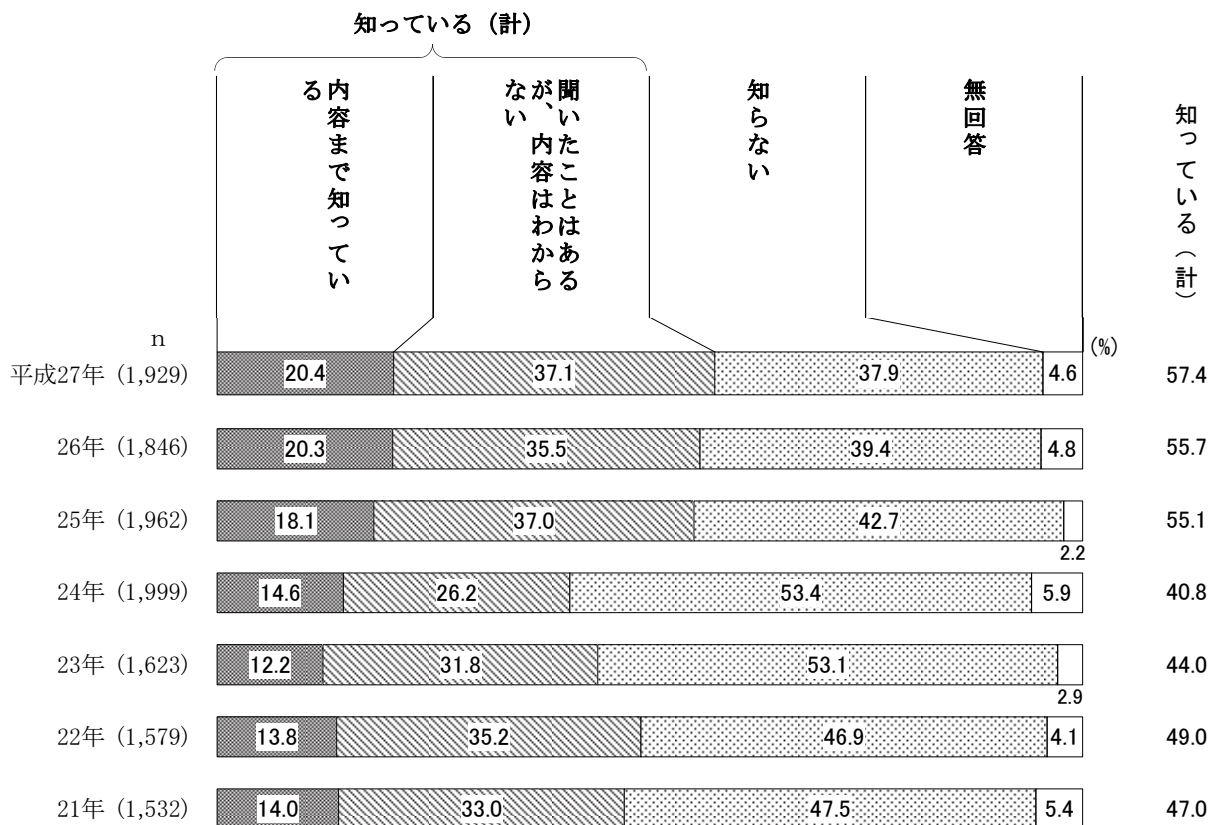


(7) 「成年後見制度」の認知状況

■ 【知っている】は5割後半

問34 あなたは、高齢者などの権利を守るしくみとして、「成年後見制度」を知っていますか（○は1つだけ）。

図8-7-1 経年比較／「成年後見制度」の認知状況



※ 「聞いたことはあるが、内容はわからない」は、25年度まで「名前は知っているが、内容はわからない」。

成年後見制度について、「内容まで知っている」は20.4%で、これに「聞いたことはあるが、内容はわからない」の37.1%を合わせた【知っている】は57.4%を占めている。一方、「知らない」は37.9%となっている。

経年でみると、【知っている】は平成26年55.7%、今回57.4%とほぼ横ばいになっている。

性別で見ると、【知っている】は男性56.0%、女性59.3%となっている。

性・年代別で見ると、男性では、50代、60代で【知っている】が、それぞれ65.9%、64.1%と高くなっている。

女性では、50代では【知っている】が71.9%と高くなっているほか、40代、60代でも6割を超えている。

図8-7-2 性別、性・年代別／「成年後見制度」の認知状況

